

令和元年度地域懇談会

開催回次	令和元年度第1回	開催月日	7月30日	開催校区	大清水校区	開催場所	大清水校区市民館
主な議題				市の回答			
<p>○ 大清水小学校正門から南校舎・体育館前駐車場の舗装について</p> <p>大清水小学校は、地域住民に施設が開放され、体育館は第2避難所に指定されており、通学する児童のみならず、地域住民にとって活動の拠点となっています。</p> <p>しかしながら、正門付近は勾配があり、体育館周辺も未舗装であるため、雨天時、水が溜まり転びやすくなり非常に危険です。正門から玄関付近及び体育館周辺を舗装していただくなど対策をお願いします。</p>				<p>車両等が往来するため、部分的に凸凹の箇所も見受けられますが、現時点では、緊急性が高いと判断することは困難であります。今後、必要に応じ補修等してまいりたいと考えています。</p>			
<p>○ 大清水校区市民館の駐車場について</p> <p>大清水校区市民館には駐車場がないため、自治会が地域活動などのために借りている大清水神社南側の私有地を、駐車場所として市民館利用者に提供しています。</p> <p>この私有地を市が管理し、市民館の駐車場として活用できるようにしてください。</p>				<p>大清水校区市民館には、3台程度の駐車スペースが確保されています。</p> <p>校区市民館の駐車場については立地等の条件により、確保されていないところから数十台確保されているところまで様々ですが、大清水校区市民館の駐車場はその中でも少ない方です。</p> <p>校区市民館の駐車場としまして10台程度の駐車スペースが必要であると考えていますが、大清水神社南側の私有地はおよそ600坪の広さがあり校区市民館の駐車場用地としましては過大な用地であることから、当該用地の全てを校区市民館の駐車場として市が賃借することは難しいと考えています。</p>			
<p>○ 大清水駅周辺を拠点としたインフラ整備について提案</p> <p>若い世代や相続者の定着、Uターン就職の実現などこの地域の人口維持を実現するために、今後の大清水駅周辺を拠点とした梅田川以南地域の生活環境の維持・充実に向けた取り組みは大変重要なものであると考えます。</p> <p>都市計画マスタープランにおける、大清水駅周辺を拠点としたインフラ整備の考え方についてご教示ください。</p> <p>また、今後、地域住民からの提案を可能な限り取り入れて計画を進めていただきますようお願いいたします。</p>				<p>都市計画マスタープランでは、大清水駅周辺と石巻地区の和田辻周辺を、市街化調整区域の地域拠点に位置付けており、周辺を含めて生活圏の中心となる「地域拠点」の形成を図るため、既存の交通結節機能や施設を活かし、生活利便施設などの立地を促すとともに、周辺地域からのアクセス交通の確保に努めることとしております。</p> <p>現在、大清水駅周辺の生活利便施設としては、信用金庫、郵便局や食品スーパー、少し駅から離れますが、平成27年に完成しました「まなび交流館ミナクル」に加え、大型のホームセンター、地区体育館や元町病院などがあり、今後の人口減少社会を踏まえると、これらの施設をいかに維持させていくかが大切です。</p> <p>ご意見にあります、大清水駅周辺を拠点としたインフラ整備の考え方ですが、都市計画では具体的な計画は定めていませんが、これまで地域からの整備要望を受けて、道路の安全対策や路線バスの運行補助金など、適切に対応させて頂いております。</p> <p>これからも、インフラ整備に関する予算確保は大変厳しいところがございますが、地域の方々からの意見を聞きながら、安心して暮らせる地域づくりに努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>			

主な議題	市の回答
<p>○「健康なまちづくり」への取り組みについて</p> <p>大清水校区では、心と体の健康を考える「健康なまちづくり」に地域として積極的に取り組んでいます。</p> <p>その取り組みの1つとして、ウォーキングマップを活用し、子供の体力向上や高齢者の認知症予防に繋がりたいと考えています。</p> <p>ウォーキングマップの活用のみならず、専門的な意見を取り入れ、大清水の地域性を活かしたより効果的な取り組みを実現するために、地域と行政が共に協力して「健康なまちづくり」を進めていける体制づくりを進めてください。また、全国的な取り組みの事例などをご教示ください。</p>	<p>○「健康なまちづくり」について</p> <p>本市では、平成31年4月に「豊橋市健幸なまちづくり条例」を施行いたしました。この条例は、市民の皆さんが「健やかで幸せに暮らすことができるまちづくり」を、地域の皆さんと一緒に進めていこうというものです。</p> <p>大清水校区をはじめ、市内約20校区で、地域が主体となる「健康な地域づくり事業」を展開し、市では地域の活動を支援しています。その一つに「豊橋いきいき健康マップ」の作成などがあり、大清水校区では今年度作成中です。大清水校区では、毎年「大清水旧陸軍飛行場跡地を歩こう会」を実施するなど健康づくりに積極的に取り組まれており、今後も子どもから高齢者まで、幅広く健康な地域づくりを展開できるように、市も後押しをしていきたいと考えています。</p> <p>次に、全国的な取り組みですが、「健幸（健やかで幸せに暮らすことができる）」をまちづくりの基本に据えた、新しい都市モデル、「スマートウエルネスシティ（SWC）」の構築を目指す、地方自治体の首長の集まりである、「スマートウエルネスシティ首長研究会」が平成21年（2009年）11月に発足しております。豊橋市も平成27年度（2015年度）より加入しております。研究会の場において、他の自治体の先進的な取組事例や最新の研究成果等について意見交換を行っております。</p> <p>今後、少子高齢化・人口減社会において、個人が健康かつ生きがいをもち、安心安全で豊かな生活を営むことができるまちづくりを推進するとともに、地域の担い手である皆さんが、「健康」を通じて主体的に健康維持・社会参加するための支援を行っていききたいと考えております。</p> <p>○ 高齢者の認知症予防について</p> <p>豊橋市では、多くの方にとって身近な認知症について、「共生と予防」（「共生」とは、「認知症の人が、尊厳と希望を持って、認知症とともに生きる、また、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる」を意味します）を両輪とし、認知症になっても希望を持って地域で日常生活を過ごせるまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>「共生」としては、市では国の掲げる「認知症施策推進総合戦略」に沿った様々な施策を進めており、認知症サポーター養成講座を地域や学校、企業などに向けて開催し、正しい知識の普及啓発を図ったり、認知症に関する情報冊子としてガイドブックの作成や介護をされている家族向け講座を開催しています。また、「大清水校区見守りの会」で開催されている「認知症行方不明者捜索模擬訓練」についても「認知症の方とともに歩むまちづくり」につながる素晴らしい取り組みであると考えています。</p> <p>「予防」としては、「認知症になるのを遅らせる・進行を緩やかにする」という点で、大清水校区で取り組まれている体操やウォーキングが糖尿病や高血圧等生活習慣病が起因となる認知症の予防に効果的です。また、社会参加の活発な地域に住む高齢者は認知症リスクが低いとの国の研究結果があります。</p> <p>大清水校区の現在の運動等の取組は認知症予防にもつながっていくと考えられますので、引き続き、長寿介護課、地域包括支援センターが「大清水ささえあいの会」「大清水校区見守りの会」と連携しながら、認知症予防の取り組みを支援していきます。</p>